



令和4年11月1日現在

人口	14,334人
男性	6,917人
女性	7,417人
世帯数	6,835戸

4年振りの大祭！最高！

10月8日(土) 首を長くして待った松明祭りが行われました。令和元年は台風で、令和2年から2年間はコロナの流行でお祭りは中止となりましたが、今年には役員会に話がお宮からあり役員会に諮ったうえ参加することが決まりました。



8月下旬子どもも交えて20人で指導者の下に慣れない松明を和

気あいあいとつくりました。お祭り当日は、早朝しめ縄を張り、夜松明を飾ってあった浅間温泉会館から港の湯まで運び、大勢の引手と担ぎ手



が見守るなか点火して御射神社に無事奉納することができました。伝統行事

を継承していくことは後継者が減っていくなど困難な状況が続いています。

今回も個人や団体の参加が昔より少なく感じました。お祭りは、見て参加しても楽しいものです。

大勢の参加者が集まる機会には色々ありますが、来年も続けてほしいものです。

錦秋の原の運動会

10月16日、4年振りに運動会が行われた。45回目である。

現在は午前中で終わるが、以前は優勝旗をめぐる隣組常会で競い、酒盛りまである最も大きなイベントだった。飲み過ぎた祖父が抱えられ帰宅したのは子供ながらに恥ずかしかったものだ。朝早くから集められて、君が代、信濃の国を斉唱し、五輪に参加するような静粛な気分にもなった。



秋晴れのグラウンドに消防団、役員が慣れた手順で白線引き、テントの設置をすると、175名(住民の17%)の老若男女が集まった。近年、宅地開発で児童数が多くなり、マスク姿の運動会という状況でも子供達の歓声は賑わいを出していた。同じ町内でも見知らぬ人、コロナ禍では久しぶりに見かける人もいて、様々な立場、年齢、体型、性別の人が真剣に競技をしているのを見ているだけでも感慨深いものがある。総予算20万円という町内では一番の催しで、沢山の景品が参加者に配られた。景品購入と仕分け、テント借り受け、広報等、運動会を開催するには見えない労力も必要で、町会住民の底力を感じた。



近所で亡くなったお婆さんの枕元には「原で一番強いやつ」と言う住民総員ジャンケン種目で優勝した時のトロフィーがあった。大切な思い出として飾っていた様子だ。参加すればなかなか楽しいのが運動会である。

大村町会 文化祭

今年で39回を数える「大村町会 文化祭」が、10月29・30日の2日間にわたり行なわれました。

未だに続くコロナ禍のため、前夜祭の中止や、各種の表彰式を屋外で行うなど、感染対策に気を配っての開催となりました。

公民館内では絵画、書、陶器、編物、各種手作り作品、小学生による絵画の「展小会」と各種活動の「発表会」を、屋外では大村町会の名物となっており「田園マレットゴルフ大会」が行われました。



良く晴れたすがすがしい秋空の元、大村地区の広大な田んぼで行うマレットゴルフは本当に気持ちのいいものです。

稲の切り株がそのまま残る田んぼに悪戦苦闘するのですが、そこがまた大きな楽しみとなっており、また、発表会では多くの皆さまにお集まりいただき、大正琴、銭太鼓の演奏、歌謡ショーを大いに楽しみました。

編集委員の役職を受けて4年目になりますが、新型コロナ感染拡大の影響で、本郷地区では文化祭(今年度は実施予定)、スポーツ行事(一部中止)、敬老長寿祝賀会等、また、洞町会の行事ではふれあい運動会、ふれあい夏祭り、ふれあい会食会・健康教室等が約3年に渡って思うように活動ができませんでした。

新型コロナの影響

どの行事をやるにしても、大勢の人が集まって密になり、新型コロナ感染拡大が心配され中止せざるを得なかったのが実情で非常に残念でした。一日でも早い新型コロナ感染拡大の終息を願い、来年度は計画された行事が実施できることを願っています。

洞町会 H



文化祭特別企画視察研修

10月22日(土)、文化祭特別企画視察研修が行われました。

最初の訪問地、千曲市の森將軍塚古墳は、森地籍にある偉い人(王)のお墓という意味だそう、古墳には石が積み、全長約100mの前方後円墳で、頂上からの景色は善光寺平を一望でき、本市の弘法山古墳からの景色と共通するものがあると思えました。



長楽寺全景



長楽寺全景

しいあんずの握りずしが入った昼食をとり、境内やすぐそばの棚田を見学しました。武水別神社を訪れた際は七五三祝いの家族にも出会いました。

この視察研修では、千曲市の「楽知会」のボランティアガイドさんに説明をしていただきました。駆け足の研修でしたが、楽しい経験ができました。皆さんもこうした機会に参加いただくと新しい発見があるかもしれません。

浅間温泉第6町会 S

町会連合会視察研修で気づいたこと

本郷地区町会連合会では、10月20日、21日に福井県への視察研修を実施致しました。

今回のメインは福井市防災センター視察。福井は第2次大戦後間もなくの1948年に大地震に襲われ隣の石川を含め死者約3800人を数えました。戦後では関西、東北の大地震に続く規模の震災でした。

歴史と文化の華薫る郷 令和4年度本郷地区文化祭 3年ぶりに開催!



原稿執筆時点で11月12日、13日の両日本郷地区分開催が開催されます。新型コロナウイルスの影響から令和2年は完全中止、令和3年は公民館活動団体のサークル展示会のみでしたが、今年度は7月下旬から町内公民館長や公民館文化委員の皆さんの活発な議論のもと、開催に向けて準備を進めてきました。

ウイズコロナ時代でどんな文化祭になるか。詳細は公民館報1月30日号でお伝えします。

連続講座

数学を数楽に！数の不思議？ 「平均的人間」(偏差値の話)

9月17日(土) 夏休みが明けてもまだ暑いさなかに今年度の公民館連続講座第3弾の数楽講座が開催されました。



何かと偏差値で測られるそんな時代に、偏差値とは何か？ どうして人と比べるのに使われるか？平均するとは？いずれ受験を迎える中学生も真剣に聞き入っていました。

浅間温泉第4町会 T



防災センターにて

令和6年5月1日の本郷村・松本市合併50周年に向け編纂する記念誌用資料の収集をしています。昔の写真や記念品、パンフレット、記録集、8ミリビデオなどをご提供いただける方は本郷公民館までご連絡ください。

Tel : 0263-46-1500 Fax : 0263-45-1014 E-mail : hongo-k@city.matsumoto.lg.jp

※令和4年11月末現在の問題です。(つづく)

合併50周年記念 かがへ検5

第1章 スポーツ

第1節 野球・ソフトボール 問25 令和3年度NPB新人特別賞を受けた松本第一高校出身の選手は

問26 松本市野球場の指定管理者はどこでしょう

問27 昭和52年、全日本軟式野球連盟とNHKが主催し、女鳥羽中学野球クラブが出場した全国大会の名前は

問28 松本第一高校野球部が県大会を制覇した回数は

問29 本郷地区内で地域(町会)名を冠した少年野球チームは何チーム